町民満足度調査の結果をお知らせします

●問い合わせ／政策調整係

町では、2020年度からの10年間を計画期間とする『新たな総合計画』の策定に向けた取り組みを進めています。

総合計画は行政だけの計画ではなく、町民の皆さんと一緒にまちづくりを進めるための重要な計画です。そのため、計画づくりの段階から町民の皆さんに意見を聴くなど、行政と町民の皆さんとの協働による計画づくりを目指しています。寄せられた意見やアイデアは、計画の策定過程で十分な検討を行い計画づくりに生かしていきます。

昨年10月に行った『町民満足度調査』では、15歳以上の町民3000人を対象に厚岸町の現状をどのように感じ、厚岸町の『めざすまちの姿』をどのように描いているのかなどをお聞きしました。今月号では、その中から主な内容を抜粋してお知らせします。

なお、『町民満足度調査』の詳細は、厚岸町のホームページに掲載しています。

調査の概要

●調査の目的／現総合計画に掲げた各施策の満足度や重要度のほか、町民の皆さんの意見などを把握することにより、現総合計画の進捗状況を確認し、『新たな総合計画』の策定に役立てるために実施しました

●調査対象／町内に在住する15歳以上の町民から無作為に３０００人を抽出し、対象としました

●調査方法／郵送による配布・回収

●調査期間／平成30年10月5日に発送し、平成30年10月19日までの投函としました

●回収結果／回収数６６７票（回収率22・２％）

●その他／集計結果は、小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位までを百分率（％）で表しています。そのため、構成比の合計が１００％にならない場合があります

■回答者の年齢・性別

男性	女性	不明
45.6%	54.0%	0.4%

10代	3.4%
20代	8.5%
30代	10.2%
40代	14.5%
50代	19.8%
60代	19.6%
70代以上	23.4%
不明	0.4%

町の施策に対する『現在の満足度』と『今後の重要度』

町の施策37項目について、現在の満足度と今後の重要度を回答してもらった結果を加重平均による手法を用いて比較しました。

この方法による比較では、満足度が低く重要度が高い状況が顕著に表れている『雇用や就労の場の確保』のほか、『バスや汽車などの公共交通機関の確保』や『漁業経営の安定化や担い手の育成確保』、『農業経営の安定化や担い手の育成確保』は、満足度と重要度の開きが大きく、今後の重点的な取り組みが求められていることがうかがえます。

一方、『上水道の整備や水質の保全』や『消防・救急体制の推進』、『自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全』などは、満足度と重要度がともに高いことから、いずれもある程度評価されており、今後も継続した取り組みが求められていると考えられます。

■満足度の高い５項目

①上水道の整備や水質の保全
②消防・救急体制の推進
③自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全
④下水道の整備など生活排水の処理
⑤病気の予防や各種健康診断などの健康づくり

■満足度の低い５項目

①雇用や就労の場の確保
②公園や広場、子どもの遊び場の整備
③バスや汽車などの公共交通機関の確保
④風力や太陽光・バイオマスなどエネルギーの適切かつ有効な利用
⑤町内商工業者振興

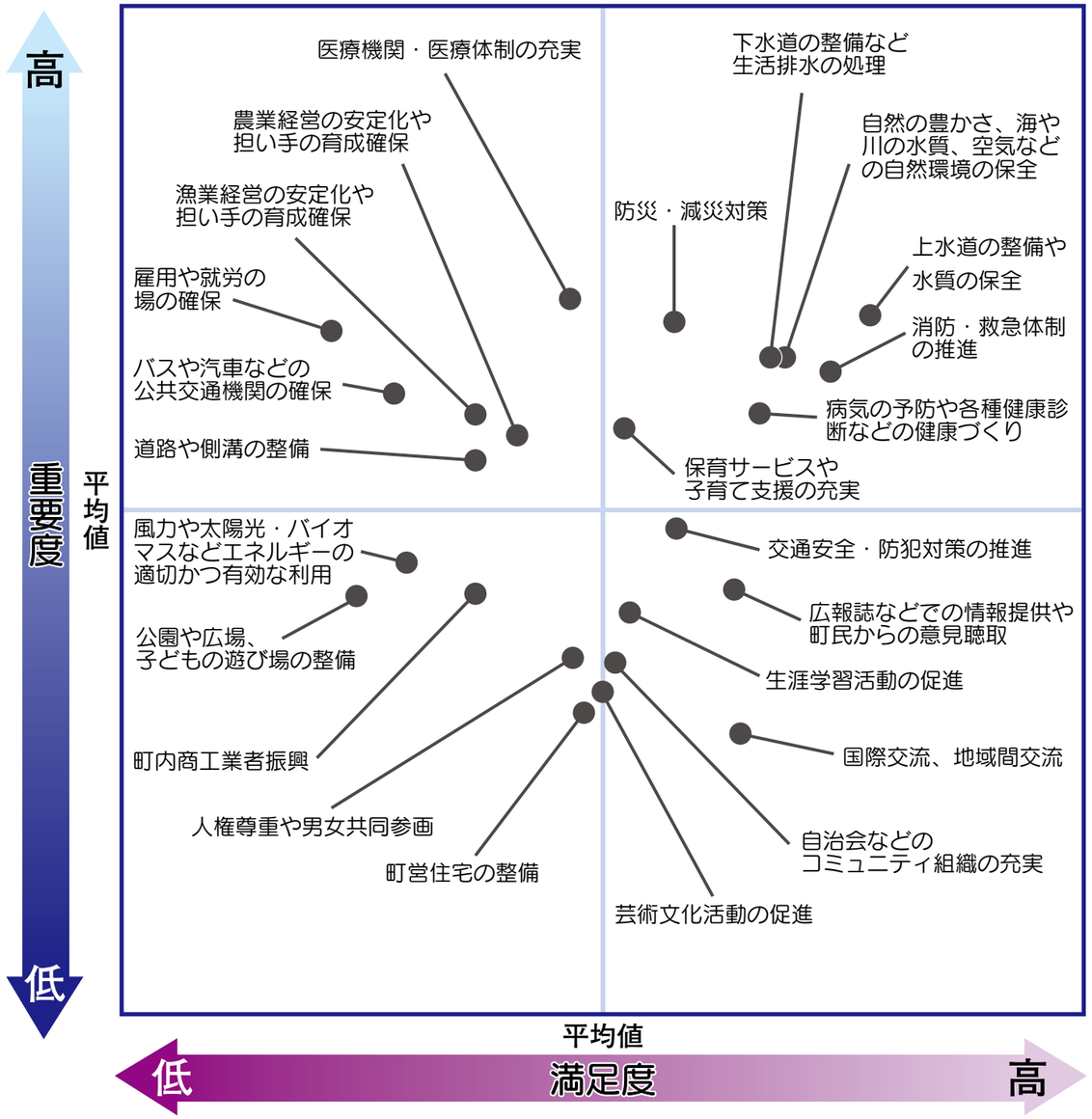
■重要度の高い５項目

①医療機関・医療体制の充実
②上水道の整備や水質の保全
③防災・減災対策
④自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全
⑤下水道の整備など生活排水の処理

■重要度の低い５項目

①国際交流、地域間交流
②町営住宅の整備
③芸術文化活動の促進
④自治会などのコミュニティ組織の充実
⑤人権尊重や男女共同参画

■満足度と重要度の差が大きい５項目

①雇用や就労の場の確保
②医療機関・医療体制の充実
③漁業経営の安定化や担い手の育成確保
④農業経営の安定化や担い手の育成確保
⑤道路や側溝の整備

■満足度と重要度グラフ　※一部のみ掲載